

当初予算が 決まりました

新型コロナウイルス感染症により依然として厳しい社会状況にある中、危機を確実に乗り越えるための必要な措置に加え、感染拡大により明らかとなった課題への対策を講じるとともに、「第3次菊池市総合計画」に掲げる将来像の実現に向けた着実な取り組みとなるよう予算編成を行いました。

☎ 財政課 ☎ 0968(25)7202

令和4年度は、次の世代へ負担を強いることがないよう、緊急性や実効性の高い事業を優先し、今まで以上に計画的な行財政運営を行います。また、「第3次菊池市総合計画」の初年度として、人と自然が調和し、希望と活力に満ちた『癒しの里』きくちを目指し、各種事業に取り組みます。

新型コロナウイルス 感染症対策

喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策については、引き続き市民の皆さんの命と健康を守るため、基本的な感染予防に力をつけての啓発および対策に努めます。特に、ワクチン接種については、市民の皆さんが滞りなく希望の接種が受けられるよう医療機関と連携しながら、万全の体制で取り組みます。

重点（主要）施策 5つの政策分野

コロナ禍において疲弊している地域経済については、再興を図るため、さまざまな経済支援を引き続き実施します。

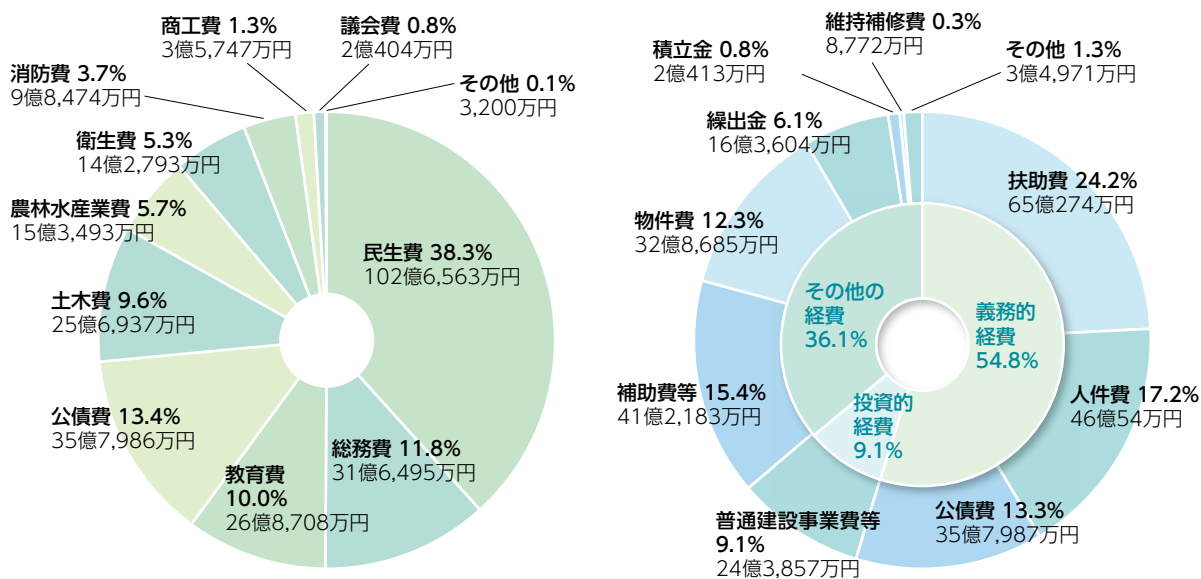
① 産業と経済について

菊池の活性化につながる菊池ファンの創出拡大については、コロナ禍の終息に合わせて、体験や交流の機会を増やし、将来的にリピーターや移住などにもつながる関係人口を増やします。また、ふるさと納税の寄附額の増加にもつながるよう、魅力ある返礼品の開発や返礼品取扱事業者の拡充を図ります。

農業については、これからの地域の中心となる担い手農家の確保と育成が極めて重要であるため、引き続き本市独自の新規農業

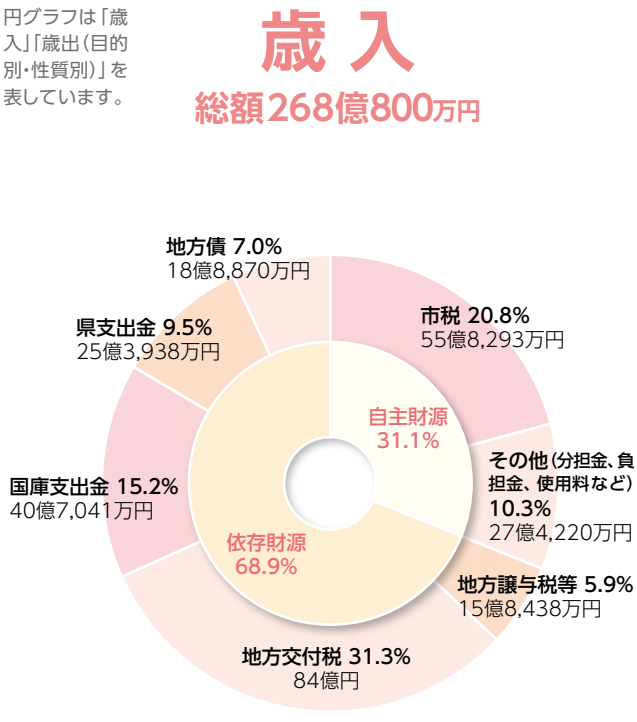
歳出

総額268億800万円



歳入

総額268億800万円



グラフで見る本年度の予算

財政用語

歳入

- 自主財源 地方公共団体が自らの権能に基づいて自主的に収入するもの
- 依存財源 国や県意思決定に基づき収入されるもの
- 市税 市民税や固定資産税など市民の皆さんからの税金
- 地方交付税 地域ごとの状況の違いを調整するため国税の一部から交付されるお金
- 国庫支出金・県支出金 特定事業に対し国・県から使いみちを指定して交付されるお金
- 繰入金 基金から一般会計に組み入れるお金
- 市債 長期間利用される市の施設をつくるためなどに借り入れるお金

歳出

- 義務的経費 人件費、扶助費、公債費を合わせた、毎年必ず支出が必要となる費用
- 人件費 職員の給料や退職金などの費用
- 扶助費 保育所の運営、生活保護、子どものための手当て、医療費の援助などの費用
- 公債費 過去の借入金に要する返済のための費用
- 普通建設事業費 道路工事や施設などを建設する事業に要する費用
- 物件費 消耗品や備品などに要する経費、委託料、光熱水費など
- 補助費等 公益的な事業などに対しての補助金や負担金など
- 繰出金 一般会計から特別会計などに支出する経費